



ひびきの 学力特集号

北九州市立ひびきの小学校
校長 竹内 学

【学校教育目標】

思いやりの心をもち、自ら学び考える、
心身ともに健康な児童の育成

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

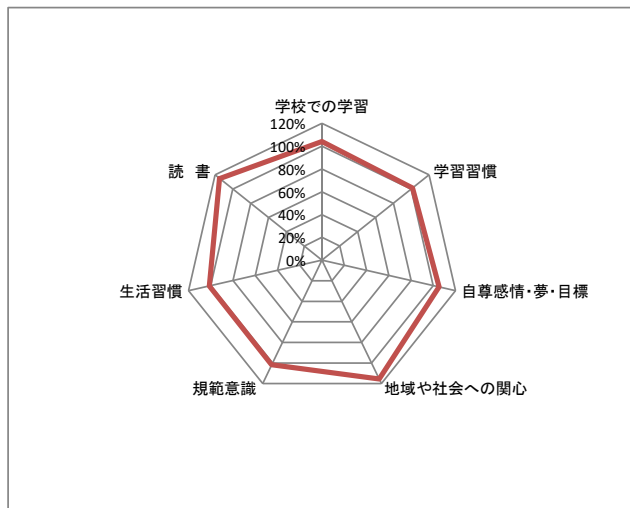
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語	ほとんどの設問において、全国平均正答率を大きく上回っており、全体的によく理解できています。特に、思考力、判断力、表現力を問う問題において、正答率が高い傾向が見られます。	上回っている
算数	ほとんどの設問において、全国平均正答率を大きく上回っており、全体的によく理解できています。特に、記述式の問題で、正答率が高い傾向が見られます。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

「学習習慣」、「学校での学習」、「読書時間」、「生活習慣」、「規範意識」、「地域や社会への関心」と、全ての領域において全国の平均値を上回っています。自尊感情が高く、夢や目標をもち、人の役に立つ人間になりたいと考え、地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童が多く見られます。

・授業においては、「各教科などで学んだことを生かしながらか、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動」や「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする活動」に積極的に取り組むことができている児童が多く、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んでいると考えられます。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・国語においては、複数の文章を読む活動を多く取り入れ、粘り強く文章全体の構成を捉えたり要旨を把握したりすることにより、筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができるよう指導していきます。
- ・算数においては、比例を用いることにより道のりから時間を求めることができるといった、比例を使う良さを理解できるよう指導していきます。また、日常の事象に戻して答えの意味を考え、必要に応じて見直すことができるよう指導します。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習については、休日の家庭学習は十分行っている児童が多く見られますが、平日の家庭学習の時間がやや少ない傾向があります。平日の家庭学習の時間が多くなるよう、学校でも指導を行っていきますが、ご家庭でもご指導をお願い致します。
- ・最近、SNS上でのトラブルが見られるため、スマホ・ケータイ安全教室等実施し、ルールやマナーなどについて学べるようにします。